

児童発達支援自己評価表 職員向け

令和5年度 児童発達支援 トミーズ

集計結果

	チェック項目	はい	いいえ	アンケート
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9		法定基準に則っている。
	② 職員の配置数は適切であるか	9		法定基準以上の人員を配置している。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9		必要時には、備品に目隠しをしたり、仕切りを利用して活動スペースを確保して対応している。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9		生活空間の清掃及び、消毒を毎日行っている。掲示物についても季節や行事を意識したものを作成し、楽しめる空間作りに努めている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9		個々の職員と話をする機会を多くとり、課題に対しての振り返りを行っている。情報共有には、ノートの利用もしている。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9		保護者からの事業所評価の結果は職員で周知し、改善点については協議している。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9		事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を愛誠会のホームページに公開している。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		9	現在、第三者による外部評価は実施していない。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9		ズーム等を利用して行っている。また、事業所内での勉強会も行っている。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の希望を聞きとり、職員間で話し合いを重ねて支援計画を作成している。 ・個別支援会議を開き、児童の評価を行っている。保護者へ説明し、要望を吸い上げている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	共通のアセスメントシートを使用している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	本人の特性と発達過程を客観的に判断し、支援内容を考案している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	職員で周知することによって統一した支援を行っている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	年度初めに療育活動計画を作成し、実践している。半期に一度見直しをしている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	今後も季節や児童の様子に合わせて、通所することが楽しみとなるような活動を工夫していく。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	9	児童の様子や発達過程に合わせて行っている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	毎朝の申し送りで行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	職員間で、その日の様子を伝えあっている。振りかえりで話した内容は、翌日にも申し送りをしている。
適切な支援の提供	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	<ul style="list-style-type: none"> ・記録や話し合いを元に応用行動分析をしている。 ・連絡ノートで共有し、改善につなげている。

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9		半年に一度モニタリングを行ない、個別支援計画の作成をしている。
関係機関や保護者との連携関係や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9		サービス担当者会議は児童発達支援管理責任者が出席している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9		児童の通園している保育所職員の見学受け入れの他、電話等で情報共有や事業内容についての問い合わせがあり、対応している。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			今年度該当児なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			今年度該当児なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9		年度末、就学、就園先への引き継ぎ書類の作成をしている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9		・法人内の放デイとの情報交換を行っている。 ・就学相談を行っている。その他、依頼を受け引き継ぎ資料の作成を行っている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9		担当者会議等では他事業所と連携し、支援について話し合いを行っている。
関係機関や保護者との連携	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9		外部の園との交流は、今年度実施できていない。地域の公園へ遊びに行く時に、プライベートで遊びに来ている子と関わりを持つことがあった。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	9		児童発達支援事業所連絡協議会には参加している。

係や保護者との連携	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の送迎時に様子の確認や相談等のやり取りをしている。 ・利用の都度、連絡ノートで家の様子、施設の様子を伝えている。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	9	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も法人内の支援アドバイザーによる講演会が行われた。 ・今後も日頃から相談に対して助言を行なっている。
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	児童発達支援管理責任者が契約時に説明している。給食代の変更等がある場合には、書面にてお知らせしている。
保護者への説明責任等	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9	モニタリングを行い、要望や家庭での様子を聞き取り、児童発達支援計画に記載したものを説明し、同意を得ている。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の送迎時やノートでのやりとり。必要に応じて面談、電話で行っている。 ・その場で回答できるものはその場で行っている。就学相談や個人面談の希望者にはその都度対応している。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	今年度は、保護者交流会、親子行事として親子遠足、クリスマス会を実施した。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	その場で回答できるものはその場で行っている。就学相談や個人面談の案内をし、希望者には対応している。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	不定期だが、ブログの更新をしている。また、法人から毎月会報を発行し活動内容を公開している。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	契約時に個人情報の取り扱いについて説明、写真については同意書・誓約書を頂いている。重要書類については鍵付きの書庫で保管している。
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	現在、視覚障害・聴覚障害の方はいないが、視覚的に物の配置や生活の流れを示す、支援を取り入れている。

非常時等の対応

④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9	今年度は、地域住民と防災訓練に参加。子ども達の様子を見ていただくことができた、地域住民を招待する等の取り組みは今の所企画していない。今後どのような方法があるのか職員間で意見を出し合い、共有認識を図っていく。実習生などの見学は対応している。
④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な状況を想定した訓練を実施している。 ・法人内で委員会を中心に改定をしながら、その都度職員や保護者へ手紙など配布を行っている。
④③	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年防災訓練の年間予定内容の確認を行っている。 ・毎月、火災や地震・津波洪水などの避難訓練を行っている。
④④	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9	・アセスメント時に確認している。
④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	指示書はないが、保護者を介して対応している。
④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	ヒヤリハットはすぐに共有している。また職員会議でも取り上げ改善策などを話し合っている。
④⑦	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	法人で虐待防止委員会を設置している。愛誠会虐待防止アドバイザーによる、講演会や内部研修を実施している。
④⑧	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9	保護者には、契約時に説明をしている。身体拘束マニュアルの読み合わせを行い、職員には周知している。